



盛夏号
編集・発行
東京都港区西麻布
4丁目9番2号
誌名「神道大教」 本局
神道の友編集部
TEL 03-3407-0524 番

『神様はありがたい』

管長 菊池重敏



神様は有り難いなくと、つくづく思い、喜びを感じるこの頃です。
今まで、神様に色々なお願い事をしてきました。
信者様から依頼されては、病氣平癒（へいゆ）、商売繁盛、家内安全、作業安全、

交通安全、受験合格、安産、子授かり等々、あらゆるお願いを神様にしてきました。そして、どのような願いでも、神様は祈願者が納得できるような結果をお与え下さって来ました。
例えば、病氣が完全に治らなくても、ある程度の回復が出来たとか、医者にもう駄目かも知れないと言われたも、不思議と持ち堪えられたとか、大変な事態に成る所を大難が小難に守ってくれたとか、厳しい経済時世だけれども何とか商売を続けて来られたとか、無理

かも知れないと心配していた事が上手く出来たとか、又、願いが叶わなかったけれど結果に納得できる等、神様はその人その人が納得出来るように導いて下さいます。
神様の御守護が感じられるから、毎年の初詣に大勢の人達が御参拝に行かれると思います。
全く神様の存在を感じられなかったら、文明社会の発展した今日まで、世界の宗教がこれ程栄えていなかっただと思うのです。
神様の存在を知らしめる為に、神様は人間をお造りになったのです。
人間は神の存在を知り、感謝の心を表す事によって、神と人間との交流が生まれ

明治天皇御製
おのがじし力つくして世を富ます
民こそくにのたからなりけり
思ふことつらぬかずしてやまぬこそ
大和をのこのこころなりけり

て来るのです。
現在新型コロナウイルスが蔓延し、世界中の恐怖となつています。
私は月に三回から四回、札幌と東京を飛行機で往復しています。妻は、私がコロナウイルスに掛かるのではないかと非常に心配します。しかし、私は妻に言います。「神様にちゃんとコロナウイルスに掛からないようお願いしているから、安心しなさい。今まで神様にお願いで叶えてもらえなかった事は無いでしょう。」と言うと、妻は安心したような顔になりました。
何時でも神様は私達の願いを聞いて下さいます。
神道では、神様にお願する事を認めています。

お釈迦様の教えでは、因縁生起で、原因が有って結果が有るのだから、偶然とか奇跡と言う考えは無く、結果を良くしたいなら原因を良くしていきたいなさい。と言う教えです。
もっともな教えですが、私達は神様にお願する事によって、心が安まつていくのです。子が親に甘えるように、そして、親に守られていると思う安心から成長して行けるのです。
神にお願出来る、神道の考え方は素晴らしいな！と思います。
神に甘えられる、そして御守護戴ける、現在の自分がとても幸福に感じられます。



《令和2年春季大祭を齋行》

令和二年の大教院春季例大祭が四月二十一日晴天に恵まれた中、荘厳に執り行われました。

今年の大祭は世界的に蔓延した新型コロナウイルスの影響を受け感染拡大防止の為、本局職員のみにて祭儀を務め、全国教師の方々に御参拝も御遠慮戴き、皆様に代わって出来得る限りの



管 長 他 祭 員 一 同

感謝の真心を大神様に捧げる厳粛な祭典を執り行わせて戴きました。

菊池管長以下祭員が祓所に参進し、修祓の儀が行われ、午前十時の定刻より霊殿祭が仕えられました。

齋主一拝、献饌・幣帛供進の後、御霊殿に奉齋の有栖川宮職仁親王殿下を始め、十一代に亘る歴代の管長公、



幣 帛 供 進 の 儀



修 祓 祓 主 祓 詞 奏 上



御 供 物 の 御 奉 納

参拜者・奉納者名目録 (敬称略)
春季大祭お供物奉納者

- 札幌八幡宮菊池重敏 廣瀬 恵子 石神神社小野光廣 石神神社教師一同 三山宮 宮田博正 眞中神社 若森 正道 導徳中教会古市文江 深田神社深田佳聖 和田直 樹 天満道心小教会宮崎日出男 高天原神社金丸タカ子 高田頼子 國井高子 藤本ハル 藤本陽子 村木 牧子 松田敏美 東京婦人会
- 幣帛料奉納者**
- 【北海道】札幌八幡宮菊池 重敏 廣瀬恵子 日天講社 石川澄子 神道伊勢月日布 教所大念寺剛 千葉佳彦 原田貴史 村木牧子 梅津 一夫 澤木博 澤木和子 中林鉄夫 中林絹子
- 【青森県】石神神社小野光 廣 小野節子 節田志ノ武 佐々木ヒデ 那川洋子 横 濱栄子 小笠原達雄 黒田 一二三【山形県】清光院小 教会湯上弘通 多田悦子 山川信利 清光院小教会信 徒一同 出雲太神社菊地元 宏 菊地康倫
- 【宮城県】桂田安子 桂田 啓生 桂田雅子 桂田悟

- 【栃木県】出雲大神像観中 教会柴山清 歳徳神社板倉 進 板倉百合子 板倉聖子 板倉信之助 高藤神社坪山 欣也 坪山仁美 坪山雅則 鈴木一男 福田春光 福富 信男
- 【埼玉県】木曾御嶽川越大 教会伊藤み代 天神大教会 富田信太郎 深田神社深田 佳聖 和田直樹 木下博子 吉村秀子 佐藤幸雄 鈴木 明子 建沼道夫 岡久和恵 東裕司 東功 東由加雄 西山昌男 渡辺かず子 國 井高子
- 【千葉県】大和八幡神社橋 村美樹 天満道心小教会宮 崎日出男 宮崎初枝 國井 明 宮崎利幸 宮崎貞幸 吉川カヅヨ 石川昌幸 菅 野一男 鈴木裕基子 田代 玲子 辻村豊春 東千鶴子 溝口孝恵 安藤敏子 飯田 栄子 宇田川三恵 沖田毅 沖田基次 金澤啓光 古宮 茂雄 田代恵美子 三浦知 子 宮地由美子 山田道子 山元真一 板垣仁一朗 坂 井はるひ 今村滋 白川貴 朗 前川征男 前川和範 白井光一 石川進

教導一筋に御生涯を掛けられた教師、所縁深き諸霊の偉大なる御遺徳を称え、御霊の安寧と我等子孫への益々の御守護を祈念し祭詞が奏上され、慰霊の舞を奉奏、続いて祭員一同にて神教歌を奉唱し、齋主による、各位を代表された感謝の玉串奉奠にて霊殿祭は厳かに営まれ終了致しました。

午後一時、同様に心身を祓い清めた後、本殿に参進し、着座、典儀の発声のもと齋主一拝、更に管長が大前に進み左右の御扉を開きて、海川山野の種々の神饌が供えられました。

大嘗祭記念事業として、皆様の御協力の元完成致しました、松の香りが漂う麗しき大床にて、齋主より古より連綿と続いて参りました神々への畏敬に報恩感謝の祝詞が奏上され、御神慮をお慰め申し上げる浦安の舞を雅に奉奏し、大祓詞と四大信條を祭員一同、心一つとなって奉唱致しました。



祝詞を奏上する齋主 菊池管長

御参列叶わなかった全国教師を代表し、管長が玉串奉奠を行い、御神慮への感謝と日常の安寧への願いを込めて拝礼致しました。撤饌、閉扉、齋主一拝で祭員が退下し、滞りなく春季大祭を終了致しました。

全国の教信徒の方々よりお送り戴きました、御玉串料、御供物等を大神様に御奉告し、お供えさせて戴きました。

皆様の大神様への信心に支えられた立派な春季例大祭を御奉仕させて戴きました。ありがとうございました。



本殿祭終了の短手



齋主・祭員大祓詞 四大信條奉唱



浦安の舞奉奏

- 【東京都】石大神宮・飯井宮再興祭祀天興大教会小林宗朝 小林昌代 小林晴比古 栄珠稲荷神社永井栄子 森田瑞穂 良和神社宮内康井上象英 大塚和彦 島田栄造 齋京則子 福谷比砂 日向敦子 弓場祥子 馬場いさ 南笄町会 木原照男 大熊満 東京婦人会
- 【神奈川県】不二中教会齋藤和幸 八阪青山御祈禱所 井上直幸 井上壽子 井上八城 山神宮勝亦健一 八坂宣教所成井勇吉 成井朝江 成井康雄 高草木鎮代 坂本八千代 池田美恵子 鈴木啓司 瀬瀬司 松野昭男 宮崎紗伎 島田好子
- 【山梨県】吉田仁六
- 【静岡県】荒浪仁一郎
- 【長野県】三井雅之 寺嶋日登美
- 【新潟県】島田ミネ
- 【愛知県】玉野御嶽神社加藤剛之 桃太郎神社若森國道 若森治彦 若森禮子 八幡天水宮深谷章男 遠藤貴子 伊木宏行
- 【岐阜県】岐阜県教師会 岐阜中教院奥田紀明 眞中

- 神社若森正仁 若森真澄 小川晴人 眞中神社教師会 導徳中教会古市文江 古市享 小川千代子 水都神社 林千津
- 【滋賀県】滋賀米原小教会 吉田善實
- 【京都府】堤龍一郎
- 【奈良県】うづめ大教会木村剛正 國親小教会早川政弘 大神茅原小教会坂口光三郎 本多光夫 本多孝子 本多恵 岡本忠宣
- 【岡山県】砂賀嘉信
- 【岡山県】大山祇神社浦田隆司
- 【高知県】高知中教院吉良祝人 吉良羊子 吉良典世 東川真也 山本純代
- 【福岡県】扇森稲荷神社長元祥泰 後藤勇 永瀬幸子 寺田勢鶴子 寺田將二 寺田悠甫 【大分県】尺間嶽中教院天野衆王 今村文夫 三浦恒良
- 【宮崎県】高天原神社金丸タカ子 金丸和充 加藤和代 藤本陽子
- 【鹿児島県】高田頼子 高田宮子 黒田茂實

《春季大祭 靈殿祭》



齋主祝詞奏上



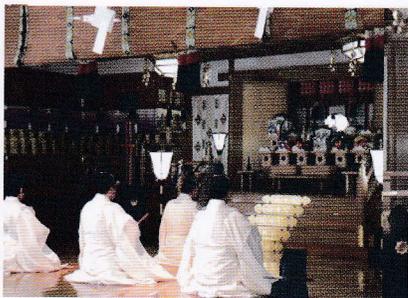
献饌の儀 陪膳作法



修祓の儀 大麻塩湯所役



祭典終了の齋主一拝



神教歌を奉唱する祭員



慰霊の舞 奉奏

銅板奉納者

この度、神道大教院の授与所建設に伴い、屋根に使用致します銅板の御奉納をお願いしております。六月末現在で六百三十一枚(約百二十五名)の御奉納のお申込を戴いております。深く感謝申し上げます。つきましては、都道府県別に奉納者のお名前を掲載させていただきます。

- 北海道・札幌八幡宮、梅津一夫、千葉佳彦、石川澄子、村木牧子、門脇宗男、大念寺剛、原田貴史、宮城県・桂田安子、山形県・菊地元宏、菊地榮、菊地佐律子、菊地康倫、水戸健倫、小野由紀、菊地敏倫、菊地真紀、菊地陽斗、茨城県・大熊満栃木県・松元節昭、板倉進群馬県・柴山清、埼玉県・深田佳聖、和田直樹、伊藤み代、千葉県・小林範児、今村滋、小林正昭、白川貴朗、前川征男、前川和範、大和八幡神社、白井光一、齊藤均、高橋菊男、須藤邦夫、丹沢八朗、竹内優子、反橋忍、権田武人、藤英夫、橋昌男、田嶋元博、伊原正

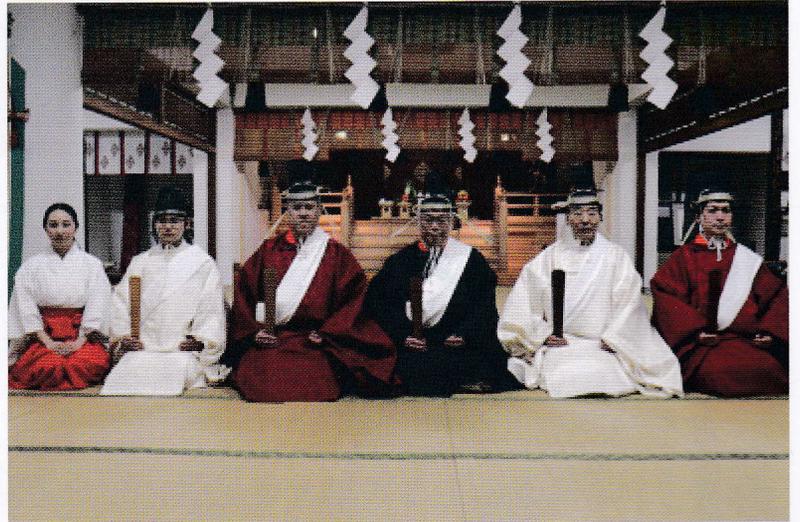
- 行、岡田博幸、丸山榮一、横山照美、石平久代、川砂由里、伊藤薫、上吉司郎、田代明義、小田原一郎、齊藤定市、伊知地衛、杉浦誠一、澤口和子、新保城一、中山匡宏、中村和子、天明道心小教会、宮崎日出男、辻村豊春、沖田基次、金澤啓光、古宮茂雄、石川昌幸、石川裕子、菅野敦史、菅野一男、三浦知子、宮地由美子、山田道子、山元真一、今野伊津子、安藤敬子、東千鶴子、東京都、井上象英、森田和子、永井栄子、森田瑞穂、島田ミネ、馬場いさ、福谷比砂、福谷亮弥、福谷莉菜、田村江利、田村和宣、平野多可子、横山比佐子、平野成章、日向敦子、横田浩崇、神奈川県・齋藤和幸、島田佳世子、井上直幸、井上寿子、井上八城、成井勇吉、成井朝江、成井康雄、高草木恒雄、高草木鎮代、坂本八千代、瀬瀬司山神宮、大野百合子、廣澤調子、新潟県、吉田仁六、長野県・三井雅之、寺嶋日登美、岐阜県・林千津、古市文江、古市亨、小川千代

- 子、小川春美、遠藤正子、後藤博史、後藤幸子、栗野認、栗野敬子、水野孝一、増水野明美、水野とよ子、増田恒文、増田朋世、増田萌増田紀子、増田満里、若森正仁、若森秀子、関谷正弘、若森道彦、所宗司、梶原敏夫、梶原千代栄、若森真澄、北川めぐみ、林日奈子、小川晴人、小川美鈴、小川雄太郎、静岡県・荒浪仁一郎、愛知県・遠藤貴子、立松恵子、立松正衛、滋賀県・堀川秀夫、京都府・堤龍一郎、大阪府・深谷章男、吉田善實、中村明子、奈良県・木村剛正、岡本忠宣、和歌山県・砂賀嘉信、砂賀佳子、砂賀嘉治、三沢かずみ、安宅明子、高知県・東川真也、山本純代、福岡県・長元祥泰、長元美恵子、長元希朱、寺田勢鶴子、寺田将司、寺田悠甫、永瀬幸子、大分県・三浦恒良、村田房子、宮崎県・金丸カク子、鹿児島県・黒田茂實 (敬称略)



引き続き御奉納の受付をしております。皆様の御協力をお願い申し上げます。

御本殿遷座祭を斎行



遷座祭 祭員

大嘗祭奉祝記念事業として、御本殿の大床改修工事を行う為、二月七日の浄暗に「仮殿遷座祭」を斎行致しました。改修工事は二月十七日に着工、四月二日に竣工致しました。

止の為、助勤を戴かず、本局職員のみでの奉仕となりました。定刻午後六時に、菊池管長齋主の元、祭員四名が仮殿の御霊殿にて、御本殿へ還御の「還幸祭」を斎行致しました。



修 祓 の 儀

御の儀を斎行致しました。続いて、御本殿にて「遷座祭」を斎行致しました。初めに、齋主一拝、献饌の儀、齋主祝詞奏上、齋主玉串奉奠、撤饌の儀、閉扉の儀、齋主一拝と続いて、齋主・祭員が退下しました。これで一連の「御本殿遷座祭」の重儀が滞りなく、荘厳裡に終了しました。



遷座祭祝詞奏上



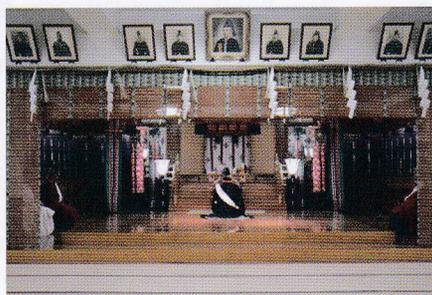
遷座祭献饌の儀



還幸祭祝詞奏上



還幸修了奉告祭齋主玉串奉奠



還幸修了奉告祭 齋主祝詞奏上



遷座祭齋主玉串奉奠

気の話

「穢清めく清々しい」

人生に、偶然という出来事はありません。

何故かと言うと、道で誰かと偶然出会ったとします。

それは、必然に自分が動いたから、その先に偶然が生まれたのです。

自分自身が動かなければ偶然には生まれなかったのです。気の学問に、偶然の法則と云うのがあります。

それは、宇宙、地球でも宜しいのですが、そこにはある種の見えない自然のルールが存在しています。人間はその法則の支配する自然という背景の中で誕生し、生かされ、活動して死んでゆきます。

その法則を構成する要素の一つが木であり、火であり、土であり、金であり、水であります。つまり、「木・火・土・金・水」が地球を構成

しています。それに「太陽・月」が加わり、これらが循環するので、法則は必然であり、偶然は無いと云うことです。私たちは、毎日「気」の中に生きています。空気と言う「気」です。空気が吸えなくなると、肺の病気になります。漢方や針、お灸の先生は、体の「経絡経穴」や「経絡」を研究しています。この「経絡図」には五行の内容が書かれています。体の悪いところは冷たく、血が悪いと言われます。血の気が引く、と言います。気が衰えている陰の状態と言えます。手のひらは常に赤く、気が充満しているのです。気が衰えている部位に手を当て、陽の気を注ぐのです。これを「手当て」と言います。血圧が高いと顔が赤くなり、心臓が悪いと青白くなります。肝臓や腎臓が悪い

と顔が黒ずんできます。黄疸では目も黄色に変わってきます。疫学が人の「気」と深く結びついている証拠ですね。悪い気が籠ると、元気がなくなり病気になります。悪い気とは、恨みとか妬み、嘘をついて人を騙したり、意地悪をするなど、人の心を傷つけ陽の気を盗む行為です。これは結果的に、自らも傷つけることになりま

す。また、自分が成長していく術を考えると、手段や方法の中で、知らず知らずの内に相手に不幸をもたらすことがあるかも知れません。そのように、自分の内に悪い気を籠らせないため、昔は毎月、決まった日に「清め祓い」をしていました。現在でも、二月の節分や三月のひな祭り、五月の端午の節句もお祓いの行事であります。また、全国の神社では、六月に「夏越し」と十二月に

「年越し」と半年の悪い気を祓う「大祓神事」を行っています。これは、邪気悪鬼を捨てる身祓い、解脱の一つです。瞑想は忘れることであり、無になることです。瞑想から覚めた時には解脱していません。煩惱に束縛されない安らかな境地に達していなければなりません。お祓いも瞑想も、自分が清められて無となり、清々しくなる行為です。病気は、陰の気が重なることですから、陽の気を沢山取り込まなければなりません。本来、陽の気は自然の中に沢山存在し、空気の中に混在しています。一番の生命力を持った陽気の根源は、今ここに、誕生した赤子そのもの。動植物、万物の誕生全てです。ですから、赤ちゃんを抱くと、湧き上がる陽の気が我が身に入ってくるのです。

論語指導士
井上 象英



(講演から)

従って、母と子の繋がりが最大の「陽気の発動」と言えるのです。自然界には偶然はありません。自然の法則の中に生きるには、その法則に叶った生き方をしなければなりません。それは、五体満足で、命を授かったことに感謝し、常に生き生きとしていることが必要なのです。常日頃から心掛けないと出来ないかも知れません。「穢い清めて清々しい」のは身体のみならず心も美しくありたいですね。

九州教区研修会開催される

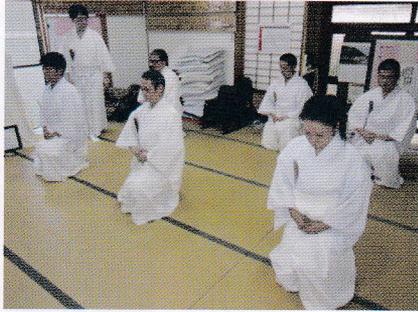
梅雨入り間近の六月九日から十一日の三日間に亘り、毎年恒例の神道大教九州教師会主催、第十六期第一回研修会が九州教区庁・扇森稲荷神社を会場として開催されました。

又、今回はコロナウイルス感染防止の為入場前に消毒をする等、例年とは違う開始となりました。



講師 受講生 集合写真

初日の長元禮典長による基本祭式、神道史の講義では、基本姿勢や所作の指導、神道を学ぶに当たっての概説等、今回初めて参加される受講生にも解り易く話され、現任の受講者も興味深く細かくメモを録りながら真剣に聴講していました。二日目は午前の宗教学、午後の祭祀概論を大熊典礼が受持ち、現代日本人の宗教と信仰の特徴等の話をされました。その他、基本祭式・総合祭式では初日からの復習を織り交ぜながら長元禮典長、大熊典礼が指導に当り、受



祭式座札作法

最終日、受講者全員による「九州教師物故者慰霊祭」が行われ、斎主が慰霊祭詞を奏上、斎主はじめ教区庁長、遺族代表の玉串が奉奠され、各御霊の安寧と教区の発展、更に今尚続く新型コロナウ



慰霊祭四大信條奉唱

講者も質疑を交わしながら、熱心に実習に励んでいました。



祭式立札作法

イルスの早い終息を祈念申し上げました。引き続き閉講式が行われ、受講者一人一人に修了証を、そして二名に教師辞令が授与され拍手によりお互いを称え合いました。研修の講評と挨拶がなされ、三日間の実り多き研修を無事に終了しました。会場を移し、総会・懇親会が開かれ、来年開催の研修会に再会する事を約束し、穏やかな歓談となりました。



物故者慰霊祭 献饌



【研修会講師・敬称略】
神道大教院禮典長・長元祥泰
神道大教院典礼・大熊 満
【研修会受講者・敬称略】
真柱本城宣教所(長)・高崎
正枝、良和神社(属)・宮内
康、扇森稲荷神社(属)・森
茂章、松崎潤也、石山晴子、
直属・三浦恒良、金田英仙
郎、額綱司



修了証書授与



大熊典禮の講義

夏越大祓で半年間の罪穢れを祓う

青空広がる好夫の中、六月二十一日午後一時より神道大教院神殿にて恒例の夏越大祓並びに水無月の月次祭を菊池管長が齋主を務め、五人の教師によって厳肅に齋行致しました。新型コロナウイルス感染の脅威も納まらない中、近隣の教師、信徒の御参拝の元、祭員が着床し、先づ、修祓の儀、齋主一拝、献饌の儀と続き、齋主祝詞奏上、続いて齋主が大祓詞を一同に宣り聞かせ、一同が応答致しました。続いて贖物神事として左巻き右巻き二本の縄を解き

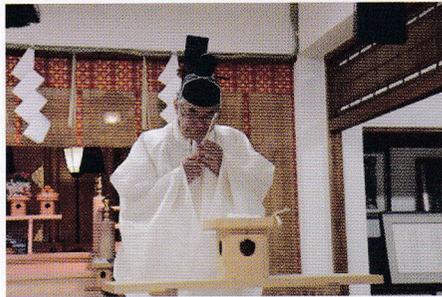


修祓大麻行事

ほぐす解縄、白木綿を力強く八つに切り裂く八針、人形に罪穢れ等を拭い移し、大きく深く息を吹き掛ける形代、左右左と自分の体を祓う自己祓の切麻。禍神の災禍を祓い心身の健全を願いました。四大信條、清め祓の歌が副齋主(禮典長)が道彦となつて参列者全員で奉唱、副齋主が後祓詞(あとはらいことば)を奏上し、齋主以下祭員が玉串を奉り、参列者がそれぞれに玉串を奉りて拝礼し大祓式を終了しました。続いて御霊殿にてみたま祭



管長祝詞奏上



解縄神事



管長大祓詞を宣る

がお仕えされ、祥月祭、年祭に当たる御霊、御奉齋の御霊等に日頃の守護に感謝申し上げました。最後に菊池管長より講話があり、コロナ感染防止の為に直会を取り止め、御神酒やお菓子をおみやげとしてお持ち帰り戴き、大祓式と六月の月次祭を滞りなく終了致しました。



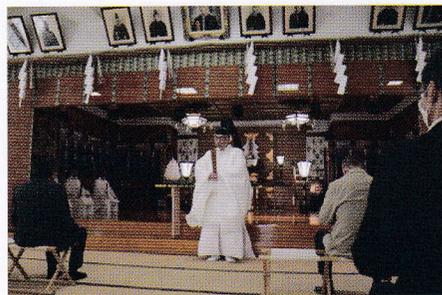
四大信條・清め祓の歌奉唱



形代・切麻神事



八針神事



管長講話

夏越大祓い

- 一、修祓の儀
- 一、齋主一拝
- 一、献饌の儀
- 一、齋主祝詞奏上
- 一、齋主大祓詞を宣る
- 一、贖物神事
- 一、解縄・八針・切麻・形代各神事
- 一、四大信條奉唱・きよめ祓の歌奉唱
- 一、天津罪国津罪祓い
- 一、清めて清々し、天津罪国津罪祓い清めて清々し、天津罪国津罪祓い清めて皆清々し
- 一、後祓詞奏上
- 一、齋主玉串奉奠
- 一、参列者玉串奉奠
- 一、撤饌の儀
- 一、齋主一拝

うづめ大教会

教会長 **木村剛正**
副教会長 **木村孝子**

〒六三〇一八三三七
奈良市中筋町二四一
TEL〇七四二一三二四一九
FAX〇七四二一九三二七三三

神道大教本局

名誉管長 **木村剛正**
管長 **菊池重敏**
総監 **長元祥泰**

責任役員一同
大会議議員一同
神道大教院 総代一同



眞中神社

宮司 **若森正仁**
宮司若森正道

〒五〇二一〇八五七
岐阜市正木二二六
TEL〇五八二二九九一三二八〇
FAX〇五八二二三九一三二九四

神道大教札幌八幡宮

宮司 **菊池重敏**

〒〇六一一二二六八
北海道北広島市輪厚中央五丁目
TEL〇一一一三七七三三八八
FAX〇一一一三七七四一九八
ホームページ <http://www.hachiangu.com/>

高天神社

宮司 **金丸夕子**

〒八八〇一〇八七七
宮崎市宮脇町八四
TEL〇九八五二七一一五七二
FAX〇九八五二八一一二〇二

神道大教 出雲太神社

宮司 **菊地元宏**
禰宜 **菊地康倫**

〒九九〇一〇五二四
山形県寒河江市高松二八〇
TEL〇三七一八七一〇二八

扇森稻荷神社 宮司

長元祥泰

家内安全・商売繁昌・厄除・八方除・交通安全・病氣平癒・結婚式
初宮詣・七五三・子宝成就・安産・子孫繁栄・学業成就・合格祈願
地鎮祭・竣工祭・上棟祭・安全祈願祭・神葬祭・各種祈禱祭

〒822-0034 直方市山部448-1
電話・FAX 0949-22-4972

暑中お見舞い 申し上げます

石大神宮・飯井宮
再興祭祀天興大教会
教会長 **小林宗朝**

〒一四一〇〇二二
北区滝野川五三二一六
TEL〇三三三九一六一二二七六

宮司 森田和子

〒一五四一〇〇〇五
世田谷区三宿一四一二十三
TEL〇三三三四一四一五五七五

岡本忠宣

神道大教 責任役員

暑中御見舞い申し上げます。

〒六三一〇〇〇三
奈良市中登美ケ丘
二一九八一七五
TEL〇七四二一四六一二五六二

三山宮

宮司 **宮田博正**

〒九九七〇二二一
山形県鶴岡市羽黒町手向三五
TEL〇二三五二二二二二六八

神道大教 大山祇神社

宮司 **浦田隆司**

〒七一九一二二二
岡山県高梁市川面町一九五八
TEL〇八六六一二六〇〇五六

高知中教院

院長 **吉良祝人**
副院長 **吉良典世**
顧問 **吉良羊子**

〒七八〇一〇〇四三
高知市寿町三一六
TEL〇八八二四二二一五五
FAX〇八八二四一七八六七



天神大教会

教会長 富田信太郎

〒三五六一〇〇二八
ふじみ野市西原一―一八
TEL〇四九―二六一―二八三二

日笠山八雲大教会

教会長 網干裕仁

〒六七六一〇〇八二
兵庫県高砂市曾根町一七一八―一
TEL〇七九―四四八―二二三二

函館敬神大教会

教会長 工藤隆三

〒〇四〇―〇〇七四
函館市松川町二十二―十六
TEL〇一三八―四一―二七三五

暑中御見舞い申し上げます

暑中御見舞い申し上げます

大会議議員

直 属 今野昭男

〒二三七―〇〇七二
神奈川県横須賀市長浦町二―六六

真柱本城宣教所

高崎正枝

〒八〇七―〇八〇七
北九州市八幡西区本城学研台
一―九―一五

神道大教 滋賀米原小教会

水心宮

吉田善實

〒五二一―〇〇一二
滋賀県米原市米原七〇四
連絡先
TEL〇六―六九一―〇一八六五一
自然舎内

暑中御見舞い申し上げます

香取神社
駒形神社

宮 司 齊藤均
(大会議議員)

〒二七二―〇〇〇一
千葉県松戸市幸田二―一八三
TEL〇四七―三四一―一三九四

御嶽永野中教会

教会長 永澤忠彦

副教会長 永澤正義

〒三三八―〇二二二
鹿沼市下永野八二
TEL〇二八九―八四一―〇三二〇

普 明 神社
苗場明道会

松井苗子

松井興太郎

暑中御見舞い申し上げます

井上象英

(神道大教 大会議議員)

出雲大神像観中教会

佐藤正美
佐藤悦子
松山貞彦
柴山清

〒三二一―〇一三三
宇都宮市新富町四五
TEL〇二八―六五三―〇四六一

金刀比羅神社

宮 司 杉本富子

〒五〇一―三九一四
岐阜県関市鑄物師屋三―三―十三
TEL〇五七五―二二―三四八五
FAX〇五七五―二二―三四六三

神道大教 鞆韜神社
たたら

宮司 小林正昭

〒二七三―〇一三三
千葉県鎌ヶ谷市道野辺中央
一―二―十一
TEL〇四七(四四三)〇〇六六
FAX〇四七(四四四)九四〇三

深田神社

宮 司 深田佳聖

〒三四九―〇一四一
埼玉県蓮田市西新宿二―一九八
TEL〇四八―七六九―五五五三

神道大教

あかつき仙台分教会

代表役員 堀川秀夫
鎌田光彦

清光院小教会

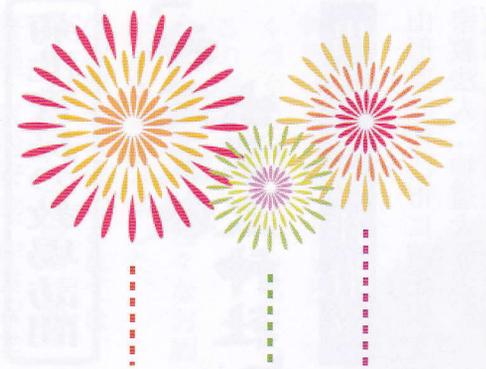
教会長 湯上弘通

〒九九九―三一六三
山形県上山市軽井沢一―一―三六

神道大教

山 神 宮

宮司 勝亦健一



〒114-0314 群馬県高崎市榛名山町一〇二
 〒175-0092 東京都板橋区赤塚一―十一七

代表役員 柿添政可
 責任役員 小泉輝人

榛名神社講社
榛名孝善坊



東京都中央区銀座三―一〇―一九
 美術家会館
 TEL03-3542-3481(代)

株式会社 美術会館
 ギャラリー青 羅(貸画廊)
 代表取締役社長

池田美恵子

〒453-0011 愛知県名古屋市中村区
 松原町一―四三―二

直属 **飯田容子**

暑中御見舞い
 申し上げます

暑中御見舞い
 申し上げます。

神道伊勢月日布教所

大念寺 剛

管長の動向 (対外行事・事務局)

四月三十日	永澤稜部長退職
五月一日	月首祭
五月十一日	教派神道連合会理事会 (オンライン会議)
五月十五日	中旬祭
六月一日	月次祭齋行
六月二十日	会計会議 (神道大教)
六月八日	教派神道連合会理事会出席 (オンライン会議)
六月九日	九州教区研修会
(扇森稻荷神社) 三日間	
七月五日	中旬祭
七月二十一日	月次祭・夏越大祓齋行
七月二十六・二十七日	山形県へ管長・総監 教場訪問 (三教場)
七月一日	月首祭
七月十三日	教派神道連合会理事会出席 (仏教伝道協会)
七月十五日	中旬祭
七月十七日	会計監査会 (神道大教)
七月二十一日	月次祭・中元霊祭齋行

※コロナ禍の影響で対外各種行事が中止となりました。



菊池管長の教場訪問

「神道大教 出雲太神社」

出雲太神社沿革

山形県寒河江市に鎮座する宗教法人「神道大教出雲太神社」に菊池管長と長元総監が教場訪問をしました。今回は、宮司菊地元宏先生が首の動脈硬化の手術の為に、入院され、無事手術も成功し、退院されましたので、お見舞いと教場訪問をさせて頂きました。当社は「神道大教出雲大神



神 殿



境内地全景

教会」の流れをくみ明治維新の大道を遵奉する「出雲教」教主北島国造家より「出雲大社」の御分霊を賜り奉祭することに始まります。菊池家は、明治六年「官幣大社稲荷神社」（伏見稲荷大社）より御神霊を賜り、明治三十六年菊池清直氏が「豊川稲荷神社」より御神霊を賜り、合祀して「荷神社」を建立しました。大正九年に山形県西村山郡高松村に社殿を移設し、昭和十二年「神道大教出雲教東京分院」より山形県一円の布教を任せられました。昭和二十九年宗教法人「神道大教出雲大神教会」本部より「神道大教出雲大神教



法螺貝を吹く禰宜 康倫先生

会山形県支部」の名を授かり御奉祭致しました。平成十年に社名を宗教法人「神道大教出雲太神社」と改名し現在に至っております。先代の菊池慎二宮司が平成二年に病気の為引退され、現在は宮司菊地元宏先生と御長男祢宜の康倫先生と共に御先祖の御意志を継がれ、教導宣教専一に務め



集 合 写 真



参 拝 者 用 ト イ レ

られております。菊地元宏先生は、神道大教院典礼として長年御奉仕され、現在は神道大教責任役員として重責を務め、神道大教発展の為に御活躍戴いております。

教内異動

☆教師補命

○補 訓導

扇森稲荷神社(属)

福岡・森 茂章

令和二年四月二十一日付

○補 権訓導

扇森稲荷神社(属)

福岡・松崎潤也

石山晴子

令和二年六月十一日付

☆辞職者

○奈良・大神茅原教会(属)

権少講義・本多光夫

小講義・本多孝子

令和二年五月二十六日付